

令和3年度DX推進講座業務委託仕様書

(1) 講座の概要

区 分	内 容	
目 的	企業がDXを推進するためには、経営者の強いリーダーシップと社内のDX推進体制の整備が不可欠であるため、経営者がDXのイメージを描けるようになるとともに、社内のDX担当リーダーを育成する講座を実施する。	
手 法	オンライン	
対 象	DXの推進に関心があり、県内に所在する県内中小企業等	
定 員	県内企業20社（各社2名※）程度 ※経営幹部及び現場管理者（マネージャー）を想定	
カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> ・講義、発表を含め3日程度とする ・2日目と3日目の間には自主作業期間を設け、その期間中はチャットまたはメール等で講師と質疑応答できる体制を用意すること。 ・以下は、カリキュラムの例示であるが、受講後に「経営者～現場が課題意識を共有し、全社的なDX推進体制の構築」につなげられるよう、能動的な内容を盛り込むこと。 	
	1日目	<ul style="list-style-type: none"> ・DXの概要・具体的な事例 ・DXの技術（例 IoT、AI、データ活用、5G等）
	2日目	<ul style="list-style-type: none"> ・ロードマップの作り方 （課題抽出、ゴール設定方法、社内体制の検討等）
	3日目	<ul style="list-style-type: none"> ・各社のロードマップの発表（事前に社内検討）と講師からのフィードバック
研修期間	令和3年10月までに講座の全日程を実施することとする	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者がDXのイメージを持ち、リーダーシップを発揮できる。 ・DX担当リーダーが中心となってロードマップ案を作成できる。 ・受講後に、経営者・DX担当リーダー、現場が課題意識を共有して、全社的なDX推進体制の構築につなげられるようにする。 	

(2) 委託業務の範囲

項 目	概 要	
事前	講座の企画・運営	講座の企画・運営を行うこと。
	教材の開発	講座で用いる教材を開発すること。
	テキストの配付	受講者に教材の電子ファイル（PDFなど）を配布すること。

	講師の手配	教材開発に携わった者を講師として手配すること。
	TAの手配	必要に応じてTA（ティーチングアシスタント）を手配すること。
当日	オンライン受講の準備と運営	<p>オンライン配信に必要なプラットフォームを準備すること。</p> <p>プラットフォームを選択する際には、以下の機能があることが望ましい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者全員が安定して視聴できること。 ・受講人数を管理できること。 ・オンデマンド配信機能も備えていること。 ・受講者が受講時間中、講師やTAにオンラインで質問できること。
	機材の手配	動画の配信・録音に必要な機材（ビデオカメラやマイク等）を用意すること。
	受講者募集	講座案内のウェブサイト、申し込みフォームを用意すること
	申込者管理	参加申し込みの受付、参加費入金確認、受講票の発行等を行うこと。
当日	配信	講義開始の時間になったら、動画を録画・配信し、受講者から質問の受け付けを行うこと。
	参加者アンケート	参加者アンケートを作成・配布・回収し、集計結果を報告すること。

(3) 受講者負担金

受講者にはテキスト代等の実費を負担させ、受託者が徴収するものとする。

(4) その他

この仕様書に定めのない事項については、受託者との協議により決定する。